

開館カレンダー

休館日

2023年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※11月の「わ・わ・わぼっとでおはなし会」は19日のみ開催します

2023年12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

あんころもち

対象:0~3才
日時:毎週 火曜日 14時~
会場:図書館 おはなしの部屋

土曜日のおはなし会

対象:3才~
日時:毎週 土曜日 14時~
会場:図書館 おはなしの部屋

わ・わ・わぼっとでおはなし会

対象:就学前児とその保護者
日時:毎月 第2水曜日 11時~
最終 日曜日 11時~
会場:子育て支援センター

ひろげよう つなげよう 笑顔・人・夢

第10回

佐賀うちどくフェスティバル in 鹿島

うちどく
家読
とは?

「家庭読書」の略。「本を読んで家族や地域で話そう・つながろう」という取り組みで、本を通じてコミュニケーションを図り、絆を深めることを目的としています。

実践発表

鹿島小学校の取り組み
明倫小学校「りんりんお話し会」の取り組み

基調講演

「もったいないばあさんの話」

講師 真珠 まりこさん

※終了後、サイン会を行います。真珠まりこさんの著書をお持ちください。(本の販売はありません)

日時 11月11日(土) 13:30~16:30

場所 鹿島市生涯学習センター「エイブル」ホール

対象 一般(小学生以上)

定員 当日先着150名(申込不要)

入場無料

【問い合わせ】

佐賀うちどくネットワーク事務局 (伊万里市民図書館内)
電話 0955-23-4646

司書のひとりごと…

今年の蔵書点検も無事に終わりました。
図書館の資料を点検していると、「こんな本があったんだ!」「この本、おもしろそう!」と、今まで気づいていなかった本との出会いがあったりします。



10月27日から11月9日は秋の読書週間です。みなさんも普段読まないジャンルの本棚の前に立って、今まで出会ってなかった本をさがしてみてください。どんな本がいいか、迷われているときは職員にお尋ねください。みなさんと本との出会いをお手伝いできれば嬉しいです。(K)



鹿島市民図書館だより

みんと



- ワークショップ「ガラスアートの世界」報告
- 館長コラム
- 特別整理期間報告
- 子ども図書館サポーター活動報告④
- 図書館見学(9月)報告
- 佐賀うちどくフェスティバル in 鹿島のお知らせ

2023年11月 263号

ガラスアートで素敵なウェルカムボードができました

ワークショップ 体験しよう「ガラスアートの世界」報告

9/16(土)、図書館でガラスアートのワークショップを行いました。講師の大西先生の丁寧な指導もあり、みなさん手元に集中して真剣に取り組まれました。作業時間50分で、素敵なスタンドグラス風ウェルカムボードが完成! みなさん、ご参加ありがとうございました!



…館長コラム「子どもの読書習慣」…

今年の読書週間の標語は「私のペースでしおりは進む」です。映画やテレビ番組などは、誰でも同じ時間経過でストーリーが展開していきますが、なるほど、本の場合は、同じ本でも人によって読むペースが異なります。評判が高い本でも、なかなかページをめくれない難解な本もあれば、文章が生き生きとイメージとして膨らみ、次々とページをめくっていくことになる本もあります。

色々な本がありますが、まずは子どもたちに素敵な本と出会ってほしい、そして読書の楽しさを知ってほしいと思います。この読書に親しむ入り口のの一つが、多くの学校で行われている「朝の読書」運動、「朝読」でしょうか。そしてもう一つの入り口に、学校の朝読の家庭版、「家読」があります。

この家読は「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味しています。この運動が誕生した頃は、通信技術や電子機器の進歩とともに、子どもたちを取り巻くメディア環境の電子化が進み、子どもたちの心の不安定化や、家族との会話の減少が危惧されていました。この背景を受けて2006年に提唱されたのが、「読書をすることで、家庭内のコミュニケーションを生み出す」ことを目的にした家読です。家読のやり方としては、子どもを中心に家族みんなで一冊の同じ本を読み、家族で読んだ本の感想を話し合うということが特徴で、それ以外に特別な決まりごとはありません。そして、読む本は、小さな子どもから祖父母まで、家族全員が短時間で読むこ

とができる「絵本」がおすすめとされています。

本好きで有名な女優の芦田愛菜さんについて、「子どもの頃に、身近にいつも本があって、よく読み聞かせをしてもらった」という記事を読んだことがあります。やはり、読書習慣は子どもの頃から育むのが良さそうです。家読や読み聞かせにどんな本を選ぶか迷う時は、どうぞ図書館職員にお気軽に御相談ください。



鹿島市民図書館長 市坪 秀明

鹿島市民図書館 一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団



〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル

TEL: (0954) 63-4343 FAX: (0954) 63-2217

<http://www.library.city.kashima.saga.jp>

2023年10月25日発行

新着図書案内



毎週 **金** 曜日は、新着図書の日

貸出カウンター前は新着図書のコーナーです。毎週金曜日には、約100冊の新着図書がみなさんとの出会いを待っています！ぜひ、借りに来てくださいね♪

『ガパオ』

下関 崇子／著 ferment books

ハーブの一種であるガパオをひき肉と炒め、目玉焼きを添えたものが日本では定番ですが、本場タイでは目玉焼きはオプション扱い。多様化する現代ガパオ130種をカラー写真で紹介したガパオレシピ本です。



『週末の縄文人』

縄、文／著 産業編集センター



現代文明に浸りきったサラリーマンが、山奥で縄文人になりきって暮らせるか…？自然にあるものだけでゼロから文明を築くことを目指す「週末縄文人」。火を起こすことからの悪戦苦闘をつづったサバイバル・エッセイです。

『草刈り動物と暮らす』

高山 耕二／著 農山漁村文化協会

ヤギ、アイガモ、ガチョウが草刈りに大活躍！鹿児島の手入れが行き届かない山の荒れた田んぼで「小さな畜産」を実践している著者が、「草刈り動物」の魅力や飼育方法、卵・乳・肉・糞の利用法までを解説した本です。



『ぼくは耳が聞こえない それでも妻と一緒に住んだら人生幸せになった話』

みゆみゆチャンネル／著 KADOKAWA



家族全員がろう者で、手話でのコミュニケーションに不安なく育ったトトさん。でも社会に出たら大変で不便なことばかり。耳が聞こえない生活、耳が聞こえる家族との幸せな生活についてトト家のあたりまえの日常を紹介します。

『60歳からの滑舌レッスン』

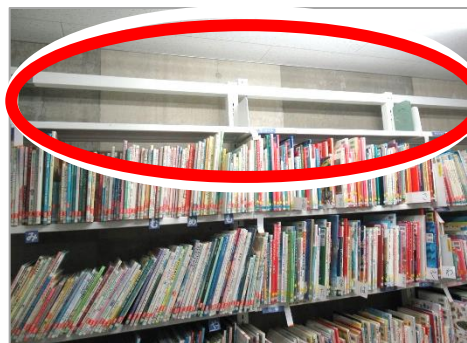
赤間 裕子／著 山内 積／監修
世界文化ワNDERグループ／出版 世界文化社／発売

最近おせやすい、滑舌が悪くなったと感じる方必見！1日たった3分で口腔機能が向上する滑舌レッスンを紹介します。準備編・あいうえお編・早口言葉編の3つのステップで取り組みます。



特別整理期間へのご理解・ご協力ありがとうございました！

10/2(月)～10/6(金)の5日間、すべての図書館資料や館内設備の点検、本棚の整備を行いました。期間中はご不便をおかけしましたが、みなさまのご理解・ご協力のおかげで事故なく点検・整備をおえることができました。閉館中の作業の一部をご紹介します。



棚の最上段は落下の危険があるため下におろして点検します。



←閉架書庫、↑文学棚の点検作業



休館中に本のポストに返却された本。点検作業が終わるまでブックトラックに置いておきます。



絵本のラベルの一斉張り替え



棚のすき間に本が挟まっていないか確認



開館に向けて特集展示の入れ替え

図書館に来てくれました！（9月）

明倫小学校2年生

エイブル全体の見学の一つとして図書館の案内をしました。



鹿島小学校4年生

本の貸出を行いました。



みどり園5歳児クラス

本の貸出・おはなし会・館内案内を行いました。

